

令和2年度重点施策

Vision2023の達成, さらに新たな化学工学に向けて, そして次のVisionへ

Vision2023に向けてこれまで重点施策を掲げ活動が展開され, 具体的な分科会活動等に繋がり成果も出つつある。一方で, 2019年度にはAPCCChEにおいて「Sufficiency」の考え方を本学会の宣言として掲げた。

*本来科学技術とは, 人々の幸福や社会のために資するように使われるものだった。ところが昨今では科学技術によってつくられた環境に社会や人間が合わさなければならなくなっている。「Sufficiency」は, より良い社会とはを問うところから掲げられた。

2020年度は昨年に引き続き下記3つの視点(社会, 人材育成, イノベーション)での重点施策を掲げる。ただ, 地球環境変化, 気象変動の深刻化, AI・デジタル変革の進展など社会環境が変化する中, 「Sufficiency」を意識し(健全で良質な社会を実現するには何が必要かを考え), 目標を再確認し, スピード感を持って取り組んでいく。

さらに次のVision策定に向けた検討も並行して進める。

1) 社会と化学工学会

社会の変革に繋がらない科学技術の実装は意味がない時代となっている。社会システム全体を見て, 変えて行こう。学会の枠を超えて手を結んで。

- 1-1) システム全体を構想し社会実装を推進
- 1-2) 社会への貢献 (例: SDGs と化学工学)
- 1-3) 社会への発信の強化

2) 人材育成, 人材活用

社会が求める新たな化学工学の育成・実践基盤の構築に向けて

- 2-1) 新たな「化学工学教科書」の刊行及び有効活用に向けた働きかけ
- 2-2) 幅広い世代が化学に触れ, 興味を持つ仕掛け, 活動の推進
- 2-3) ダイバーシティの推進

3) イノベーションと社会

脱炭素社会の実現, デジタル革新による創造社会 (Society5.0) などの実現には真のイノベーションが必要。Life Cycle Assessment の視点が重要。

- 3-1) 再生可能エネルギーの本格的活用等にもなう産業構造変革に対する化学工学の貢献
- 3-2) 化学製品設計・製造・プラントへのAI, DXの導入に向けた貢献

【活動のポイント及び2020年度のトピックス】

① 社会課題解決に向けての政策提言と社会実装: 1) 項, 3) 項関連

Vision2023で提案された施策の具体化, あるいは水素社会実現や各産業(化学, 鉄鋼, セメント等)での脱炭素化, リサイクルに向けた新しい社会システム, 産業システムの検討に化学工学会として貢献すべく, 個別に産学の検討チーム(若手も参画)を編成し, 課題解決の構想(システム)を検討し, その実現のKeyとなるBreak-through Technologyを見極める。次にはその活動の輪を他の学会に広げ, 必要に応じて産官学コンソーシアムを創成し, 国の助成も得ながら社会実装に繋いでいく, この具体例(好例)を作る。この活動が「Sufficiency」の展開にも繋がる。

- ② 化学工学教科書の刊行と有効活用： 2) 項関連
 化学工学会から新たな化学工学教科書(*)を発行するとともに、その教科書を有効活用するための活動を展開する。化学工学会内に体制を作り、各大学の化学工学教育への採用等を働きかける。
 *化学工学は化学プラントの設計だけでなく、機能材料、バイオテクノロジー、エネルギー、医療などの広範な分野において重要になっている。化学工学の授業数、教員数が限られる中で、教えるべき内容を厳選し、化学工学的な問題解決法のアプローチを学び、化学工学の本質を理解でき、実践的な課題を化学工学の知識に基づいて解決できる能力を養成し、化学工学の基礎が身につく教科書
- ③ グローバル化及びダイバーシティ推進： 1) 項, 2) 項, 3) 項関連
 社会と化学工学、イノベーションと化学工学は世界共通のテーマ。学会の国際化、グローバル化をさらに進める。具体的には DECHEMA, AIChE, WCEC との交流を進める。また、ダイバーシティ(女性、若手、外国籍研究者、経営者、官側など)は学会活動のコアであり、躊躇なく進めて行く。
- ④ イベント支援
 2020年度は関西地区で初めて開催されるプラントショーOSAKA2020の成功に向けて学会として積極的に支援する。
- ⑤ Vision2036の議論
 Vision2023を制定して10年が経ち社会環境、社会の要請も変わってきている。次のVisionに向け活発な議論を開始するとともに、その中で浮かび上がってくる新たな変革と施策については2023終了を待たずに、適宜毎年の重点施策の中に反映して行く
- ⑥ アドバイザリーボード(仮称)
 1)項~3)項の施策及び上記の議論では幅広い有識者から意見、アドバイスを頂くことが大切となってくる。従って、学会の意思決定機関である理事会とは別に、幅広い立場からご意見を頂くべくアドバイザリーボードを設立する。

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

- ①第85年会 (令和2年3月15~17日) 関西大学千里山キャンパス
- ②第51回秋季大会 (令和2年9月24~26日) 岩手大学上田キャンパス

(2) 支部大会

- ・3支部(北海道・東北・関東)合同支部大会 (令和2年7月) 秋田
- ・合同支部(関西・中国四国)大会 (令和2年12月) 広島

(3) 講演会、シンポジウム

- ・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 国際化を促進する。

- ① 海外地域委員制度を実施し、各国「帰国留学生の連携を開始する。
- ② ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ③ アジア各国の化学工学会の動向に注目し、日本・韓国・台湾との合同シンポジウムを持ち回りで開催する。
- ④ 中国とは日中化工シンポジウムを隔年交互に開催する。
- ⑤ アセアン諸国とはRSCEへの参加を積極的に実施し、APCChE変参加を促す。
- ⑥ 年会での国際シンポジウムをより発展させる。85年会より、International Chemical

Engineering Symposia をスタートする。

- ⑦ 引き続きアジア国際賞に基づく英語セッションを続ける。
- ⑧ AIChE や DECHEMA とのジョイントシンポジウムを積極的に開催する。
- ⑨ 海外留学生交流会を引き続き産学連携センターと共同で開催する。

(2) 各国委員会

① 中国委員会

2020 年に CIESC と日中化工シンポジウムを開催する。

2019 年度と同様年 4 回の委員会の開催と講演会の開催を開催する。

② 韓国委員会

韓国主催の「化学工学に関する国際シンポジウム」をタイで開催する。

③ 台湾委員会

2020 年度 TwIChE 年会で日韓台合同シンポジウムを開催する。

④ アセアン委員会

引き続きフィリピン、インドネシア、タイ、ベトナムとの交流を深め、タイで開催される RSCE には積極的に参加する。ASEAN 化学工学連合にも説教的に参加し活動をサポートする。

⑤ 米国委員会

2020AIChE 年会でバイオ工学に関するジョイントシンポジウムを開催する。

⑥ ドイツ委員会

2021ACHEMA での参加と企業を含めたポスターセッションを計画準備する。

⑦ WCEC/APPCChE

RSCE開催期間中に APChE Board Meeting を開催し、APCChE2019 を引き継ぐ。また WCEC へも参加する。

WCEC:World Chemical Engineering Council

APPCChE:Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress

RSCE:Regional Symposium onChemical Engineering

AFChES:ASEAN Federation of Chemical Engineering Society (アセアン化学工学連合)

3. 人材育成事業

- ・資格制度と技術者教育を両輪として連携させた教育体系の活動強化と技術者の生涯にわたる学習を支援。

(1) 経営ゼミナール

- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
- ・第 46 回経営ゼミナール (2020 年 8 月 28, 29 日芦屋、9 月 25, 26 日伊東、10 月 23, 24 日名古屋、11 月 27, 28 日千葉) の実施。テーマ:「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」。
- ・第 15 回経営ゼミナール特別講演会 (11 月 28 日幕張) の実施。過去の受講者が集う場の提供による産産交流。

(2) 継続教育

- ・企業の若手技術者(入社～10 年程度)が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
- ・本会現有プログラム(プラントエンジニアリングコース 23、安全エンジニアリングコース 5、環境エンジニアリングコース 4) の実施(年間約 30 講座 60 日)、及び、日本粉体工業技術協会(粉体エンジニアリングコース 11) への協賛。
- ・受講者の理解度向上のため、事前アンケートによる受講目的把握。テキスト

事前送付による予習促進。修了レポート実施と質問メール受付による復習をサポート。

- ・「化学工学技士（基礎）」を保有する若手社員を対象にした受講料割引制度の実施。
- ・受講と修了レポートの結果に応じて「継続教育ポイント」を付与。
- ・事後アンケート等に基づく既存プログラムのメンテナンスと、新規プログラムの拡充。
- ・修了レポートの提出率向上に向けた取り組み。

(3) 高等教育

- ・教育審査委員会より「JABEEと連携した活動」を継承。社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
- ・企業の協力の下で、学生が企業で研究・実習するインターンシップを実施。学問と実務の橋渡し経験をえられる場を提供。
- ・インターンシップ受入企業間での情報交換と交流活動を実施。
- ・インターンシップ報告会（2020年9月24日岩手大学）の実施。
- ・過去に実施した「化学工学教育シンポジウム」や「アンケート」を分析・反映し、「化学工学教育」体系のガイドライン策定に向けて活動。
- ・Chem-E-Carコンテスト（2020年3月14日関西大学）の実施。
- ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」への共催。

(4) 未来人材育成

- ・「学生発表会」（2020年3月7日中央大学、岡山大学）の開催と、2021年度（2021年3月6日）に向けた準備。
- ・「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」を全国3箇所で開催（2020年7～8月、関東・関西・東海支部との共催）。中高教諭が工学への理解を深める機会を提供。
- ・「化学モノづくり動画」（夢・化学21）の新規教材作成と、既存教材の活用促進に向けた啓蒙活動。
- ・高校教諭との接点を拡大することを目的に、全国理科教育大会（2020年8月6,7日熊本）へ出展。

(5) その他

- ・キャリアに応じたプログラムの提供と各プログラムから次ステップへの案内、及び、会員増強への貢献。「化学工学技士（基礎）」から「継続教育」、「継続教育」から「化学工学技士」、「化学工学技士」から「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」「上席化学工学技士」、「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」から「経営ゼミナール」「上席化学工学技士」。
- ・「しごとの常識塾」基本編（②2020年4月11日東京、③8月29日神戸）及び応用編（①2020年3月13日大阪、②6月6日東京、③10月頃会場未定）の実施。上級編（2021年度～）実施に向けた準備。
- ・「教育奨励賞」の審査・選考。

4. 資格付与事業

(1) 資格制度運営

- ・「上席化学工学技士」の審査（一次書類審査2020年6月、二次論文審査2020年7～9月、三次面接審査2020年10月17日東京）に向けた運営、認定。
- ・「化学工学技士」の試験実施（2020年8月22日東京・大阪）に向けた運営、認定。

- ・「化学工学技士（基礎）」の試験実施（2020年9月12日全国各地17会場）に向けた運営、認定。
 - ・「化学工学技士（基礎）」取得者への「継続教育ポイント」付与。
 - ・地域（東京・大阪で各2回）での「上席化学工学技士」活動を支援。
 - ・「化学工学技士（基礎）」合格と「継続教育」受講で得た「継続教育ポイント」を利用した無料での「化学工学技士」受験促進。
 - ・2020年度「化学工学技士（基礎）」「化学工学技士」「上席化学工学技士」合格者への激励講演会の実施。
 - ・「化学工学技士（基礎）」と「化学工学技士」「上席化学工学技士」が集い、日本の未来を背負う若手技術者・研究者の卵とプロフェッショナルが意見交換できる場を提供。
5. 出版事業
- (1) 学会誌
 - ・学会誌電子化後の検討、検証
 - ・広告（会誌、WEB バナー）獲得の拡大
 - (2) ホームページ
 - ・英文ホームページの充実
6. 受託事業
- ・重点施策 1)項、3)項を推し進めるため、産学検討チームを編成して社会課題解決に向けた構想を検討するとともに学会の外部組織とも連携を図り、国への提案と受託に向けた活動を進める。
7. 技術相談事業
- ・年会に於ける産主導のセッション開催による産業人の年会参加推進
 - ・常置委員会の活動支援による産学官交流促進
 - ・法人会員向け情報発信強化による産業人の学会活動への参加促進
 - ・技術相談対応態勢整備と運用
8. 審査事業
- ・英文誌のインパクトファクターを上げる施策、およびプレゼンス向上に係わる企画立案。海外出版社への委託制作の検討
 - ・和文誌の投稿記事増加の促進
9. 表彰事業
- ・名誉会員候補者の推薦
 - ・令和2年度化学工学会賞の表彰
10. 男女共同参画事業
- (1) 講演会・セミナーの開催
 - ・年会における女性賞受賞記念講演を含む「女性技術者フォーラム」開催
 - (2) 情報発信
 - ・会誌「化学工学」の「広がれ！ダイバーシティ」に寄稿者を推薦
 - ・キャリア形成に関する紹介を行う記事を掲載
 - (3) 交流・意見交換の場の提供
 - ・「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催
 - (4) 参画支援活動
 - ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施

(5) 対外活動

- ・男女共同参画学協会連絡会の参加
- ・支部・部会・他委員会との連携
- ・他学協会行事への積極的参加による活動アピール

[2] 収益等事業

1. 展示出展事業

- ・プラントショーOSAKA 2020（東京オリンピック 2020 と同時期開催）
2020年7月29日～31日、インテックス大阪
第33回プラントショー、第10回機能性材料展、第10回水イノベーション、第13回環境・エネルギー対策展、第2回防爆・防災リスク対策展
目標 120社 250ブース 来場者 10,000名
同時開催：メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2020
- ・INCHEM TOKYO 2021 の計画立案（2021年11月24日～26日 東京ビッグサイト）

2. 相互扶助事業

(1) 支部・懇話会

- ・地域CT賞の表彰

(2) 部会

- ・本部大会等での魅力あるシンポジウム、討論会の実施
- ・産学官連携の推進
- ・部会CT賞の表彰
- ・情報発信力の強化(部会HP等)

(3) 会員増強

- ・法人会員に属する社員の個人会員への勧誘
- ・若手の会支援
- ・学生会員から正会員への資格変更の促進

(4) 戦略推進事業

- ・ビジョン推進委員会では Vision 2023 の継続的なフォローと、次の Vision 策定に向けた検討を開始
- ・高度生産システム検討委員会では、クローズドコンソーシアムによるエチレンプロセスの技術革新分科会最終年と、石油精製プロセス技術革新分科会2年目を実施
- ・次世代エネルギー社会検討委員会では（一社）日本鉄鋼協会と協働による国際会議「第1回 地球環境のための炭素の究極利用技術に関するシンポジウム」を実施
- ・社会実装学創成研究会では活動の活性化を図る
- ・産業界交流委員会では若手会員への熟議継続と SDGs に関する活動を実施
- ・SDGs 検討委員会では化学工学による SDGs への貢献について検討を継続発信
- ・AI・IoT 委員会では10年後（～2030年）の化学工場のあるべき姿について独自の議論を行い、世界の動き中で日本の特色を活かした10年後のビジョンを作成
- ・CCUS 研究会では部会横断的に CCUS に関する課題抽出・分析、シナリオ提案、知の共有・還元を実施

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

(1) 「化学工学」誌 第84巻No.1～12号(12冊)

・ページ数：70ページ/号平均

(2) 「化学工学論文集」第46ページ巻No.1～6

・ページ数：40ページ/号平均

電子版：奇数月発行6回/年

冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第53巻No.1～12

・ページ数：80ページ/号平均

電子版：毎月発行12回/年

冊子版：1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

[4] 支部事業

別紙「令和2年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「令和2年度各部会事業計画書」参照

令和2年度支部事業計画書
(自 令和2年 3月 1日～至 令和3年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[] 共催行事・() 地区懇話会名等・○ 印日程未定

	北海道支部	東北支部	関東支部
令和2年3月			6 第6回幹事会 7 第22回学生発表会 ○ 第1回幹事会(新潟地方化学工学懇話会)
4月		○ (岩手) 岩手化学工学懇話会総会(岩手大)	24 第1回運営会議
5月	○ 令和2年度第1回常任幹事会(北大)	1 東北支部特別講演会(東北大) 1 (宮城) 宮城化学工学懇話会総会(東北大) ○ (青森) 青森化学工学懇話会総会 ○ (福島) 福島化学工学懇話会総会 ○ (福島) 福島化学工学懇話会講演会 ○ (山形) 山形化学工学懇話会総会(山形大工学部) ○ (山形) 山形化学工学懇話会講演会(山形大工学部)	22 第1回幹事会
6月		○ 第22回先端研究発表会(東北大) (東北支部・宮城化学工学懇話会共同主催)	4 総会・理事会(新潟地方化学工学懇話会) 4 第152回講演会(新潟地方化学工学懇話会) 19 第60回関東技術サロン・第2回幹事会 ○ 第7回初心者のための化学工学入門コース(3日間) ○ 幹事会・総会(つくば化学技術懇話会) ○ 講演会(つくば化学技術懇話会) ○ 総会および記念講演会 (北関東地区化学技術懇話会) ○ 第6回ものづくり技術セミナー ○ 第26回旬の技術見学講演会
7月	○ 令和2年度第1回役員会 ○ 令和2年度見学会および講演会 <第164回講演会>	2~3 化学工学会秋田大会2020(北海道・東北・関東支部 合同大会)(秋田ビューホテル) ○ 第66回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城) ○ (秋田) 秋田化学工学懇話会総会(秋田ビューホテル) ○ (秋田) 第50回ケミカルエンジニアリング交流会 (秋田ビューホテル)	2-3 3支部合同支部大会(秋田ビューホテル) ○ 中高教諭とケルエンゾニア交流見学講演会 ○ バイオプロセス講演見学会 ○ 第2回リスクに基づくプロセス安全入門 ○ ホットな話題の講習会 ○ 第69回化学工学基礎講習会「化学工学入門1」 (新潟地方化学工学懇話会) ○ 第70回化学工学基礎講習会「化学工学入門2」 (新潟地方化学工学懇話会)
8月		○ (福島) 夢化学21(福島高専)	21 第2回運営会議 ○ 第190回講演会(神奈川技術懇話会)
9月		11~12 第28回東北支部若手の会セミナー(秋田) 11~12 第25回東北ジョイント夏季セミナー(秋田) 11~12 東北支部令和2年度第1回役員会(秋田) 26~27 (令和2年度化学系学協会東北大会)(八戸工業大学)	25 第3回幹事会 ○ 第2回幹事会(新潟地方化学工学懇話会) ○ 第153回講演会・見学会(新潟地方化学工学懇話会)
10月		○ 第67回プロセス設計技術講演会・見学会(山形) ○ 第32回へいはなコンファランス(東北支部協賛) ○ 日本エネルギー学会東北支部講演会 (東北支部協賛) ○ 青森化学工学懇話会講演会 ○ (福島) 福島化学工学懇話会工場見学会	23 第3回運営会議 ○ 第25回基礎化学工学講習会(6日間) ○ 第50回CEシリーズ講習会 ○ 見学会(つくば化学技術懇話会) ○ 第71回化学工学基礎講習会「化学工学入門3」 (新潟地方化学工学懇話会) ○ 工場見学会(北関東地区化学技術懇話会)
11月	○ 第23回アカンセミナー <第165回講演会> ○ (2020年度微粒子工学講演会)	○ (山形) 山形化学工学懇話会技術講演会(鶴岡高専) ○ (岩手) 2020年度岩手地区講演会(岩手大) ○ (秋田) 第51回ケミカルエンジニアリング交流会 (会場未定)	20 第61回関東技術サロン・第5回幹事会 ○ 第72回化学工学基礎講習会「化学工学入門3」 (新潟地方化学工学懇話会) ○ 第73回化学工学基礎講習会「化学工学入門4」 (新潟地方化学工学懇話会)
12月	○ 令和2年度第2回常任幹事会(北大)	○ (福島) 第11回福島地区CEセミナー(日大工学部) (東北支部協賛) ○ (岩手) 第30回化学工学一関セミナー(一関高専) (東北支部共催)	18 第4回運営会議 ○ 第3回幹事会(新潟地方化学工学懇話会)
令和3年1月	○ 第30回化学工学・粉体工学研究発表 ○ 令和2年度第2回役員会	○ 東北支部令和2年度第2回役員会(宮城) ○ 第68回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	22 第5回幹事会 ○ 最近の化学工学講習会68
2月			○ クローズアップシリーズ2020 ○ 第191回講演会(神奈川技術懇話会) ○ 研修懇親会(北関東地区化学技術懇話会) ○ 企業先端技術講演会2021 (新潟地方化学工学懇話会) ○ つくば学生研究交流会(つくば化学技術懇話会)

令和2年度支部事業計画書
(自 令和2年 3月 1日～至 令和3年2月28日)

公益社団法人化学工学会

東海支部		関西支部		中国四国支部		九州支部	
○	<静岡>第56回 静岡コロキウム	○	環境&資源エネルギー研究会第20回講演会(大阪) 15-17 27 化学工学会第85年会(関西大学千里山キャンパス) 第1回若手の会「CES21」新旧役員交流会(大阪)	7	第22回化学工学会学生発表会(岡山大会)		
○	第1回 幹事会	○	化学工学イノベーション研究会第28回研究会 ○<播磨>第21回定期総会・第1回幹事会(姫路)	19 27 26-27-30 17	<徳島>第47回理事会 (中国四国)第1回 幹事会 <山口>化学工学基礎講習会(周南市) <中国>総会・記念講演会(広島)	○	第1回執行部会
○	<静岡>役員会・総会/第58回 静岡コロキウム	○	<北陸>定期総会・第1回理事会	○	<岡山>総会・特別講演会(岡山)	○	第1回幹事会 ○<西九州>総会・講演会 ○<北九州>総会・講演会
22~24 23	第44回 基礎化学工学演習講座(第2クール) 【名古屋市工業研究所】 第13回機器分析講習会【ウイנקあいち】 ○ 第1回 常任幹事会	19-20	第1回幹事会(統一WG会議)(神戸) ○ 第4回CES21エクスカッション(大阪) ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第1講-」 ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第2講-」	19日	<徳島>総会・記念講演会(徳島) ○ <山口>総会・講演会・見学会	27 27	第57回化学関連支部合同九州大会 第25回九州支部学生賞審査会
8~10 15~17	第44回 基礎化学工学演習講座(第3クール) 【名古屋市工業研究所】 第44回 基礎化学工学演習講座(第4クール) 【名古屋市工業研究所】	2	開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第3講-」 ○ 第3回いまさら化学工学シリーズ 「反応工学編-第4講-」 ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー ○ プラント・プロセス研究会第25回見学会 ○ 環境&資源エネルギー研究会第21回講演会	○	<中国四国>第2回幹事会 ○ <岡山>化学工学基礎講習会(R2年度第1回) (岡山) ○ <中国>新技術交流会(場所未定)	14-16 29-31	第51回化学工学の基礎講習会 第51回化学工学の基礎講習会 ○ 第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討 論会 ○ <南九州>総会・講演会
○	第2回 幹事会 ○ 第107回 講演見学会(中高ケミカルエンジニアリ ング見学講演会との共催)	22 28-29	化学工学技士試験(大阪) (未来人材育成委員会 共催) 第46回経営セミナー関西セッション(芦屋) ○ (未来人材育成委員会 共催) 中高教諭とケミカルエ ンジニア交流のための見学講演会 ○ <北陸>第15回北陸地区化学工学研究交流会 ○ <北陸>第223回装置懇話会	○	<中国>広島大学オープンキャンパス(東広島) ○ <山口>化学工学基礎講習会(宇部)	5-7	第51回化学工学の基礎講習会 ○ <東九州>総会・講演会
2~4 9~11	第44回 基礎化学工学演習講座(第5クール) 【名古屋市工業研究所】 第44回 基礎化学工学演習講座(第1クール) 【名古屋市工業研究所】 ○ [第118回 東海技術サロン](中部科学技術 センター・東海化学工業会担当) ○ <静岡>地域貢献事業①こどもたちのための理科 倶楽部	12	化学工学技士(基礎)試験 ○ [SIS部会PO分科会 共催]第38回プラントオペレ ーションに関する現場監督者セミナー ○ 学生の会企業見学会 ○ 工業化技術研究会第21回研究会 ○ <播磨>第12回工学基礎講座(姫路)	○	<中国四国>中国国若手CE合宿 ○ <中国>基礎化学工学講習会(東広島)	○	第2回執行部会(拡大執行部会)
23~24	[人材育成センター 共催] 第46回 経営セミナー東海セッション [imyホール・会議室、ホテルメルパルク名古屋] ○ 第2回常任幹事会	16	セミナー「プラント安全体験セミナー ～危険体験と安全に関する講演会～(仮)」(高砂) ○ 第2回幹事会 ○ 第26回実践化学工学講座「化学工学の基礎」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「反応工学」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「蒸留」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「晶析」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「吸収」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「流動・伝熱」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「吸着」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「粉粒体」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「乾燥」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「攪拌混合」(大阪) ○ 第26回実践化学工学講座「プロセス制御」(大阪) ○ 先端技術を支える単位操作シリーズ 「攪拌装置の基礎とスケールアップの実践(仮)」 ○ 先端技術を支える単位操作シリーズ 「膜分離操作の最前線(仮)」 ○ 学生の会企業見学会 ○ プラント・プロセス研究会第26回見学会 ○ 化学工学イノベーション研究会第29回研究会 ○ <北陸>第2回理事会 ○ <播磨>第2回幹事会(姫路)	○	<中国>2020年度セミナー(場所未定) ○ <徳島>工場見学会(徳島) ○ <山口>化学工学研究会(宇部)	26-28	IWChE ○ 第15回化学工学の基礎出前講習会
7~8	第51回 中部化学関係協会支部連合秋季大会 【愛知工業大学】 ○ <静岡>第28回 静岡フォーラム (研究交流セミナー) ○ 第3回 東海若手合宿 ○ 第7回 初歩からの化学工学数学演習講座 ○ 第54回 進歩講習会	○	○ セミナー「マイクロプロセス最前線シリーズ(仮)」 ○ セミナー「AI/IoT関連」(大阪) ○ 日本-台湾ジョイントシンポジウム ○ 環境&資源エネルギー研究会第22回講演会 ○ <北陸>第74回化学工学講習会 ○ <播磨>企業見学会(姫路)	○	<中国>2020年度セミナー(場所未定) ○ <徳島>工場見学会(徳島) ○ <山口>化学工学研究会(宇部)	○	第15回化学工学の基礎出前講習会
○	第3回 幹事会 ○ <静岡>第26回 企業技術交流会	3	開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー ○ 第3回幹事会 ○ (中国四国支部 共催)合同支部大会 ○ 第8回実践化学工学講座 実習編-第1日- ○ 学生の会大学見学会・月例セミナー	○	<関西支部 共催・中国四国> 合同支部大会広島大会 ○ <岡山>化学工学基礎講習会(R2年度第2回) (岡山)	5	iSChE2020 ○ 第15回化学工学の基礎出前講習会
○	第3回 常任幹事会 ○ 第5回 信州コロキウム ○ 第108回 講演見学会 ○ <静岡>地域貢献事業②見学と講演	○	○ 第8回実践化学工学講座 実習編-第2日- ○ <北陸>第224回装置懇話会 ○ 第24回和歌山地区共催セミナー(和歌山) ○ 第33回CES21講演会 ○ 化学工学イノベーション研究会第30回研究会	○	<岡山>第67回化学工学コロキウム(岡山) ○ <岡山>学生工場見学会(場所未定) ○ <徳島>第25回徳島地区分析技術セミナー (徳島)	22 22	第23回企業と大学・高専の人材育成懇談会 第3回執行部会 ○ 第15回化学工学の基礎出前講習会
○	第4回 幹事会/役員会/第119回東海技術サロン ○ <静岡>第57回 静岡コロキウム	○	○ 第4回幹事会 ○ セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向:講 演&見学会(仮)」 ○ 環境&資源エネルギー研究会第23回講演会 ○ 工業化技術研究会第22回研究会 ○ プラント・プロセス研究会第27回見学会 ○ <北陸>第3回理事会 ○ <播磨>第3回幹事会(姫路) ○ <播磨>第39回播磨産業フォーラム	○	<岡山>第68回化学工学コロキウム(岡山) ○ <山口>講演会・見学会(場所未定)	○	第15回化学工学の基礎出前講習会

2020年度 部会事業計画書

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業 | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事 | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進 |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 | 8. 特記事項 |

(記載事項のない項目は掲載省略; 年号記載ないものは2020年3-12月、2021年1-2月)

バイオ部会

1. 国際関連事業

- 行事名: THE 4TH INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON FUELS AND ENERGY (7月20~23日、東広島市)
行事副題: 「未定」
開催月日: 7月20-23日
会場: 東広島芸術文化ホール(東広島市)
参加者(100人(国内70人 国外10人 国内企業関係20人))
発表件数: 50件(うち招待講演5件)
オーガナイザー: 中島田 豊(広島大学)
主催: 広島大学エネルギー超高度利用拠点
共催: バイオ部会環境生物分野専門分科会
- 行事名: 20th BSSS2020(BioSeparation Symposium & School) 第20回バイオ分離シンポジウム (12月頃、山口大学)
行事副題: 「未定」
開催月日: 12月頃
会場: 山口大学工学部
オーガナイザー: 山本修一(山口大)、吉本則子(山口大)、Ales Podgornik(University of Ljubljana)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 行事名: 2020年度日本食品工学会秋季見学会・講演会 (11月頃、未定)
行事副題: 「(未定)」
開催月日: (未定、11月頃)
会場: (未定、長野県内を予定)
参加者: (未定)
発表件数: (未定)
オーガナイザー: (未定)
主催: 日本食品工学会
共催: 化学工学会バイオ部会
- 行事名: 秋季大会シンポジウム (9月24~26日、岩手大学)
行事副題: 「オミクスとAIの生物医学への応用」
開催月日: 9月24-26日
会場: 岩手大学
参加者: (50人(国内10人))
発表件数: 8件(うち招待講演2件)
オーガナイザー: 倉田博之(九州工業大学)
主催: 生物情報分野専門分科会
共催: 未定
- 行事名: 環境バイオテクノロジー学会2020年度大会シンポジウム (6月、静岡大学)
行事副題: 「未定」
開催月日: 6月
会場: 静岡大学(浜松市)
オーガナイザー: 金原和秀(静岡大学)
主催: 環境バイオテクノロジー学会

共催: バイオ部会環境生物分野専門分科会

- 行事名: 第51回秋季大会部会横断型シンポジウム (9月24～26日、岩手大学)
行事副題: 「未定」
開催月日: 9月24～26日
会場: 岩手大学上田キャンパス
オーガナイザー: 松村幸彦(広島大学)、中島田豊(広島大学)
主催: バイオ部会、エネルギー部会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 行事名: 化学工学会第51回秋季大会 (9月24日、岩手大学)
開催月日: 9月24日(岩手大学 盛岡)
次世代バイオ分離プロセス
オーガナイザー: 山本修一(山口大)、吉本則子(山口大)
- 行事名: 化学工学会 第51回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (9月24～26日、岩手大学)
行事副題: 「複雑性・多様性・不確定性に応える食品工学(仮題)」
開催月日: 9月24日～26日
会場: 岩手大学上田キャンパス
参加者: (未定)
発表件数: (未定)(うち招待講演1～2件)
オーガナイザー: 中川究也(京都大学)
主催: 化学工学会(バイオ部会)
共催: 日本食品工学会(予定)

6. 受託事業の推進

未定

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- Newsletter No.51 (6月発行)
- Newsletter No.52 (12月発行)

8. 特記事項

- バイオ部会 2020年度総会(未定、)
- バイオ部会 2020年度第1回役員会(未定、)
- バイオ部会 2020年度第2回役員会(2月中、未定)

超臨界流体部会

1. 国際関連事業

- 年会における国際シンポジウム「K-1 持続可能社会構築へ向けた最近のガスハイドレート研究(K-1 Recent Gas Hydrate Researches for Building a Sustainable Society)」の共同主催(+基礎物性部会)
- 関連国際シンポジウムなどへの協賛
 - i) The 18th European Meeting on Supercritical Fluids (EMSF 2020) (5月17～20日)
 - ii) The 7th International Solvothermal and Hydrothermal Conference (ISHA 2020) (9月1～5日)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- サマースクールの開催 (8月頃)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 秋季大会におけるシンポジウムの開催 (9月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- 年鑑の担当・執筆

6. 受託事業の推進

- ・ プロジェクト研究の企画検討(チーム編成)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ ニュースレターの発行(年2～3回)

エネルギー部会

1. 国際関連事業

- ・ 第85年会国際セッション(International Chemical Engineering Symposia と併催) (3月15～17日、関西大学)
「エネルギー変換・貯蔵の最前線 -システム・デバイス-
Recent Progress in Energy Conversion and Storage - Devices and Systems-」
オーガナイザー:井上 元(九州大学)、西村 顕(三重大学)、辻口 拓也(金沢大学)
展望講演者
◎タイ・チュラロンコン大学 Amornchai Arpornwichanop(国際賞受賞)
 - 中国・天津大学 Shixue Wang
 - 韓国・エネルギー研究所 Young Jun Sohn
 - 日本・大阪大学 森 浩亮
 - 日本・東京大学 大友 順一郎
 - 日本・大阪大学 津島 将司

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第38回熱利用分科会研究会(熱利用分科会) (開催日時、場所等未定)
- ・ 第39回熱利用分科会研究会(熱利用分科会) (開催日時、場所等未定)
- ・ 熱利用分科会第9回若手セミナー(熱利用分科会) (開催日時、場所等未定)
- ・ 第20回バイオマス合同交流会(バイオマス分科会) (12月開催予定)
- ・ ガス化プラント見学会(バイオマス分科会)(日エネガス化部会合同開催) (日程未定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第51回秋季大会におけるシンポジウム開催(予定) (9月24～26日、岩手大学)
3部会合同シンポジウムをエネルギー、反応工学、材料界面で開催し特別セッションも設ける。
(エネルギー変換デバイス・システム分科会)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 「化学工学」年鑑 10. 資源・エネルギー担当

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ メールングリストでの情報配信を予定している。

安全部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 安全講演会(11月大阪)(11月東大山上会館) (11月、大阪、東京大学)
- ・ 継続中のワーキンググループ活動
- ・ 事故調査に関するワーキンググループの推進
- ・ BPM アプリケーション・ソフトウェア要求仕様策定 WG の推進
- ・ 設備管理 WG
- ・ 新 PSM ガイドライン構築 WG

- ・ 安全サロン(3~4 か月に1度都内にて開催予定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 9月の秋季大会 (9月24~26日、岩手大学)

4. 講習会などの啓発活動

- ・ 安全セミナー(定常 HAZOP) (2020年2月)
- ・ 非定常HAZOPのセミナー(今回で6回目) (10月)
- ・ HAZOP/LOPA手法の修得セミナー(4月にAGC千葉工場で開催) (4月、AGC)
- ・ ノンテクニカルスキル講座:年2回
- ・ ノンテクニカルスキル教育の企業特設講座で啓発
- ・ 第11回行動特性研究会(6月にAGC千葉工場で実施) (6月、AGC)
- ・ 第12回行動特性研究会(大分で実施) (大分)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ テクニカルレポートのHPへの格納
- ・ 現在進行中のWG活動は継続する。
- ・ 設備保全 WG のテクニカルレポート発刊

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ フェイスブックで化学工学会安全部会の活動紹介の継続

エレクトロニクス部会

1. 国際関連事業

- ・ 予定なし。ただし臨時開催はある。

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 10月 シンポジウム(予定) (10月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第51回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」 (9月24~26日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ シンポジウム要旨集のホームページへの掲載

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 「化学工学」年鑑への寄稿

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載

8. 特記事項

- ・ 幹事会および幹事会講演6回開催予定

粒子・流体プロセス部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 粒子・流体プロセス部会セミナー

- ・ 熱物質流体工学セミナー2020
- ・ 令和2年度ミキシング技術分科会夏期セミナー
- ・ 第29回東日本地区ミキシング技術サロン
- ・ 第30回関西東海地区ミキシング技術サロン
- ・ 第25回九州・中国地区ミキシング技術サロン
- ・ 気液固分散工学サロン(第21回、22回)
- ・ 第26回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム
- ・ 機能性粉体プロセス研究会
- ・ 第2回粉体プロセス研究会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 年会 粒子・流体プロセス部会セッション (3月15～17日、関西大学)
- ・ 秋季大会 粒子・流体プロセス部会シンポジウム (9月24～26日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第8回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
- ・ 粒子流体プロセス技術コース2020

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ニュースレター(23号、24号)
- ・ ミキシング技術分科会会誌 Mixing Technology Now No. 25
- ・ 気液固分散工学ニュースレター(23号、24号)

8. 特記事項

- ・ 部会賞の公募、審査、授与および記念講演会の開催

システム・情報・シミュレーション部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

※統合化学工学分科会は2019年度をもって廃止する。

※下記の(新分科会)は、2020年度に新設予定の「システム医薬分科会(仮称)」である。

- ・ プラントオペレーション分科会 第153回研究会 (4月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (4月)
- ・ (新分科会)発足記念研究会 (6月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第154回研究会 (7月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (9月上旬)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (9月、秋季大会)
- ・ プラントオペレーション分科会 第155回研究会 (10月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (12月)
- ・ (新分科会)研究会 (12月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第156回研究会 (1月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第51回秋季大会シンポジウム (9月24～26日、岩手大学)
- ・ 情報技術教育分科会:第19回プロセスデザイン学生コンテスト (9月26日)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会シンポジウム(タイトル未定)
- ・ (新分科会)シンポジウム(タイトル未定)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ プロセス装置・システム開発セミナー (8月)
※ダイナミックプロセス応用分科会と分離プロセス部会の共催を検討
- ・ 第38回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー (開催時期未定)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑(10月号)執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員(約300名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間15~20通程度)
- ・ 部会ホームページの更新および拡充

8. 特記事項

- ・ SIS部会幹事会 (3月、関西大学)
- ・ SIS部会幹事会 (9月、岩手大学)
- ・ SIS部会 研究奨励賞 審査および授与 (3月)
- ・ SIS部会 技術賞 審査および授与 (3月)
- ・ SIS部会 研究奨励賞 審査および授与 (9月)
- ・ SIS部会 技術賞 審査および授与 (9月)

反応工学部会

1. 国際関連事業

- ・ ChemReactor24(International Conference on Chemical Reactors)への contribution (8月)
- ・ ISCRE26(International Symposium on Chemical Reaction Engineering)への contribution (12月)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第19回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (3月)
- ・ 第24回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (5月)
- ・ 第8回講演会(CVD反応分科会) (5月)
- ・ 第32回シンポジウム(CVD反応分科会) (6月)
- ・ 第24回微細気泡関連の講演会 (6月、千葉工業大学)
- ・ 第3回ソノプロセス分科会見学会 (6月、名古屋)
- ・ 2020年度ソノプロセス分科会講演会 (9月、久留米)
- ・ 第29回ソノケミストリー討論会:共催 ソノプロセス分科会 (9月、久留米)
- ・ 第20回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (9月)
- ・ 分科会賛助会員の集い「触媒反応工学 見学・講演会」:主催 触媒反応工学分科会 (10月頃)
- ・ 第26回流動化・粒子プロセスシンポジウム:共催 触媒反応工学分科会 (11月頃)
- ・ 第25回大気圧プラズマ関連の講演会・見学会 (11月)
- ・ 第33回シンポジウム(CVD反応分科会) (11月)
- ・ 2020年度マイクロ化学プロセス分科会主催講演会 (11月頃)
- ・ 第34回シンポジウム(CVD反応分科会) (2月)
- ・ 反応分離シンポジウム2020 (開催時期未定)
- ・ 第19回無機膜研究会 (開催時期未定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第85年会オーガナイズドセッション(CVD反応分科会オーガナイズ) (3月17日)
- ・ 第51回秋季大会にて反応工学部会シンポジウム (9月24~26日、岩手大学)
- ・ 第51回秋季大会にてマイクロ化学プロセス分科会によるシンポジウム (9月24~26日、岩手大学)
- ・ 第51回秋季大会にてCVD反応分科会による部会横断型シンポジウム (9月24~26日、岩手大学)
- ・ 第51回秋季大会にて膜型反応器に関する部会横断型シンポジウム開催(調整中) (9月24~26日、岩手大学)

- ・ 第51回秋季大会にて反応場の工学分科会による部会合同シンポジウム (9月24～26日、岩手大学)
「プラズマプロセスによる化学工学の新展開」:共催 熱工学部会, 粒子・流体 プロセス部会
- ・ 第6回ファインバブル学会連合シンポジウム:共催 ファインバブル学会連合 (10月、慶應義塾大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第60回オーロラセミナー:主催 触媒学会北海道支部, 共催 触媒反応工学分科会 (7月頃)
- ・ 2020年度マイクロ化学プロセス分科会主催討論交流会 (7月頃)
- ・ 第5回講習会(CVD反応分科会) (10月)
- ・ 第14回触媒劣化セミナー:主催 触媒反応工学分科会 (11月頃)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑(2020)の執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 反応分離ニュース(1回/年)
- ・ マイクロ化学プロセス分科会、ニューズレターの送付(年3回を予定)
- ・ マイクロ化学プロセス分科会、Facebook上での準公式HPによる各種啓発活動
- ・ 反応工学部会触媒反応工学分科会 2020年度報告書 ―活性劣化に関する報告書(XXX)― 発行 (2月頃)

8. 特記事項

- ・ 第10回日本セラミックス協会マテリアル・ファブ리케이션・デザイン研究会 協賛 (3月、仙台)
- ・ CVD反応分科会幹事会 (3月、5月、9月、11月、2月)
- ・ 触媒反応工学分科会幹事会 (3月(年会時), 5月(東京), 9月(秋季大会時)、開催予定)
- ・ マイクロ化学プロセス分科会幹事会 (3月、9月)
- ・ 第11回日本セラミックス協会マテリアル・ファブ리케이션・デザイン研究会 協賛 (7月、場所未定)
- ・ 第71回CVD研究会共催 (8月)
- ・ Cat-CVD研究会共催 (9月)
- ・ 第72回CVD研究会共催 (12月)
- ・ 15th International Conference on Catalysis in Membrane Reactors(2021年7月早稲田大学開催)準備会合
- ・ 学生海外発表補助
- ・ 反応工学部会若手会(反好会)幹事会 (3月、9月)

環境部会

1. 国際関連事業

- ・ 第2回日韓水環境若手研究者シンポジウムを大邱(韓国)にて共催予定 (9月、大邱)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第33回環境工学連合講演会『SDGsに向けた環境工学の役割』共催 (5月19日、日本学術会議講堂)
招待講演:平尾雅彦氏(東京大学)、演題「人と社会のウェルビーイングのための環境工学(仮題)」
- ・ 各分科会において見学会等を実施予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催 (9月24～26日、岩手大学)
- ・ 化学工学会秋季大会においてCCUSに関する部会横断シンポジウムを共催予定 (9月24～26日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ リサイクル分科会にて関東支部行事「最近の化学工学講習会」を主催 (1月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学 11 号特集 化学工学年鑑 2020(環境化学工学)
- ・ 化学工学論文集にて特集号を企画予定

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会関連の情報を適宜、部会員全体のメールマガジンにて提供

8. 特記事項

- ・ 環境部会 2019 年度総会 (3月15日、関西大学)
- ・ 環境部会 2020 年度幹事会 (9月24日、岩手大学)

材料界面部会

1. 国際関連事業

- ・ アジアコーティングワークショップ(ACW2020、5月13-15日、能登、ホテルのときんぶら、60名程度)(5月13~15日)
- ・ 日韓材料シンポジウム(11月4-7日、金沢市 石川県教育会館、150名程度) (11月4~7日、金沢市)
- ・ 化学工学会第85年会国際シンポジウム<反応を利用した粒子製造プロセス> (3月17日、関西大学)
- ・ 化学工学会第85年会国際シンポジウム<エネルギー変換・貯蔵の最前線-ナノ材料合成->(3月16日、関西大学)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 材料化学システム工学討論会 2020 (夏頃、東京)
- ・ 塗布技術分科会 第65回定例会合 (関東)
- ・ 塗布技術分科会 第65回定例会合 (関西)
- ・ 塗布技術分科会 第66回定例会合 (関東)
- ・ 塗布技術分科会 第66回定例会合 (関西)
- ・ 塗布技術分科会 合宿討論会
- ・ 第15回晶析操作の基礎と実践 協賛予定(晶析技術分科会)
- ・ 第7回海水・生活・化学連携シンポジウム 協賛予定(晶析技術分科会)
- ・ 第9回マイクロカプセル研究会講演会 (開催日時、場所は調整中)
- ・ 第14回機能性微粒子分科会セミナー (開催日時、場所は調整中)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第51回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <晶析技術分科会シンポジウム> (9月24~26日、岩手大学)
- ・ 第51回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <機能性微粒子分科会シンポジウム>(9月24~26日、岩手大学)
- ・ 第51回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <ソフトマター工学分科会シンポジウム>(9月24~26日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ R2 年度晶析技術分科会秋の晶析セミナー

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
- ・ 【晶析技術分科会ニュース】晶析技術分科会会員に対して配信

8. 特記事項

- ・ R2 年 第1回 機能性微粒子分科会委員会 (3月15日を予定)
- ・ R2 年 第2回 機能性微粒子分科会委員会 (9月頃を予定)

基礎物性部会

1. 国際関連事業

- ・ International Chemical Engineering Symposia 2020 における Recent Gas Hydrate Researches for Building a Sustainable Society のオーガナイズ
- ・ AIChE Annual Meeting に部会員を派遣し、情報交換と国際交流を図る。

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 分離技術会年会 2020(協賛)
- ・ 分離技術会等の関連する学会と共催および協賛の講演会等を開催する。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 85 年会 (3月15～17日、関西大学)
- ・ 第 51 回秋季大会:部会シンポジウム (9月24～26日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 蒸留フォーラム 2021(協賛)
- ・ 分離技術会等の関連する学会と協力して、企業研究者を対象とした物性測定技術、推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を協賛・共催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 2020

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員に向けた部会ニュースレターを配信し、部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す。

分離プロセス部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 17 回分離プロセス部会基礎講座(10月予定:吸着・イオン交換分科会担当予定) (10月)
分離プロセス部会では、この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招き、分離プロセスの基礎理論を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回程度のペースで開催している。
- ・ 第 17 回分離プロセス部会講演会及び見学会(時期未定:蒸留分科会担当予定) (時期未定)
分離プロセス部会では、年に一回のペースで、分離プロセスの実際の現場を見学し、講演を聴くことで、分離プロセスの理解を深める企画をしている。
- ・ 第 9 回分離プロセス部会最新技術講座(10月予定:抽出分科会担当予定) (10月)
分離プロセス部会では、この重要な分離プロセス分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え、分離プロセスの最新技術を平易に解説する「分離プロセス最新技術講座」を隔年のペースで開催している。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会第 51 回秋季大会シンポジウム(分離プロセス部会:固液分離分科会担当予定(9月24～26日、岩手大学)
 - － 分離プロセス部会シンポジウム(口頭)
 - － 分離プロセス部会ポスターセッション&実用分離技術ポスターセッション(ポスター)他数件を予定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 会誌「化学工学」に、分離プロセス部会としての特集記事を掲載する。

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会 HP を随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
- ・ ニュースレターを年 1 回のペースで発行する。

熱工学会

1. 国際関連事業

- ・ Asian Conference on Thermal Sciences(ACTS 2020)におけるオーガナイズドセッション Thermal storage(11 月、宮崎県)
内容: ACTS 2020 において、化学工学と関連の深い Thermal storage のセッションを企画する。
アジア各国の熱工学研究者と研究交流を深める。
開催日: 11 月 15 日～19 日
会場: 宮崎県 フェニックス・シーガイア・リゾート

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 2020 年度総会 (3 月 16 日、関西大学)
内容: 2019 年度の部会の行事・決算報告, 2020 年度の行事予定・予算の審議等を行う。
開催日: 3 月 16 日 (化学工学会 85 年会の期間中)
会場: 関西大学千里山キャンパス
- ・ (公)日本伝熱学会主催第 57 回日本伝熱シンポジウムにおけるオーガナイズドセッション
「化学プロセスにおける熱工学」合同企画 (6 月 3 日～5 日、石川県)
内容: 本部会とも関係の深い「化学プロセス」に関連した熱工学分野の研究発表を募集し、セッションを企画する。
日本伝熱学会員とも交流を深め、学術・技術面での情報交換を行う。
開催日: 6 月 3 日～5 日
会場: 石川県地場産業振興センター
- ・ 2020 年度第 1 回熱工学会研究会 (9 月 24 日～26 日、岩手大学)
内容: 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
開催日: 化学工学会第 51 回秋季大会(9 月 24 日～26 日)期間中
会場: 岩手大学上田キャンパス
- ・ 熱工学会セミナー(1回/年) (11 月、グアム)
内容: 熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、4名程度の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。
開催日: 11 月を予定
会場: グアム
- ・ 2020 年度第 2 回熱工学会研究会 (11 月、グアム)
内容: 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
開催日: 熱工学会セミナーと同じ
会場: 熱工学会セミナーと同じ

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会第 51 回秋季大会における「熱工学会シンポジウム」 (9 月 24～26 日、岩手大学)
概要: 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて、熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。
開催日: 化学工学会第 51 回秋季大会(9 月 24 日～26 日)期間中
会場: 岩手大学上田キャンパス
- ・ 化学工学会第 51 回秋季大会における部会横断シンポジウム
「プラズマプロセスングの新展開」 (9 月 24～26 日、岩手大学)
概要: プラズマプロセスングは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており、

プラズマによるナノ粒子合成、機能性薄膜の作製、表面処理に加え、有害物質処理などの幅広い分野に応用されている。本シンポジウムでは、プラズマプロセスの基礎と応用に関する討論をもとに、化学工学における新たな展開を探る。

共催: 反応工学部会

開催日: 化学工学会第 51 回秋季大会 (9 月 24 日～26 日) 期間中

会場: 岩手大学上田キャンパス

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会ホームページにおける情報発信を強化するために、ホームページの内容を充実させる。

8. 特記事項

- ・ 熱工学部会賞

化学工学会第 51 回秋季大会における「熱工学シンポジウム」での発表者を対象とする。

化学装置材料部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 部会講演会 (6 回/年) 分科会の会合時および総会時に開催予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 85 年会 3/15-17@関西大学千里山キャンパス 化学産業フォーラム (3 月 15～17 日、関西大学)
- ・ 第 51 回秋季大会 9/24-26@岩手大学上田キャンパス (9 月 24～26 日、岩手大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 各分科会での研究会活動 各分科会において、研究会や見学会等を年 4 回目標に開催する。
- ・ 工場見学会を企画

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑、トピックスの執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会メールマガジンを適宜発行

8. 特記事項

- ・ 化学装置材料部会 2020 年度総会 (2 回/年)
- ・ 化学装置材料部会 2020 年度役員会 (2 回/年)

以上